

講師團の羽仁、山下、玉越諸講師の適切な講評を頂いて会員一同研究討議に対して充分な反省と光彰を添えることが出来た。

斯うして二日間に亘る研究大会は万事順調にすすみ、閉会式となる。開催地私立幼稚園協会に対する会員代表の感謝の辞として答辞、共に真情あふるものがあつた。

特に地元の私幼として万般の準備をされ諸君の心惜察するに余りあるものがある。順調、無事成功裡に終了した喜びに、挨拶の言葉もつまる。会場より「螢の光」を以つてこの喜びと、明年度石川県金沢市の大会にまた再会を約し度いと希望が出る。実に同志的、感激的な閉会式であつた。この団結意識こそ、連合会の特色であろう。私立幼稚園と云う一色の純粹さから、初めて生れ出るもので、他の色合いが加わると斯うした気分は到底生れ出でないと思う。

日本幼稚園界は、国公立と私立の両団体にて二分されているが、性格も、両団体の主要課題も共に相似た点なり、相異なる点の方が多い。その主体性の確立、強化に重きを置いて現在のまま両立して行くことが正しいと思う。それがそのまま全日本幼稚園

界の発展への大道ではあるまいか。

(感応幼稚園長)

この秋最初に与えられた良書は「乳幼児と現代の文化」であつた。

私たちはさきに

A・ゲゼル著 乳幼児の心理学によつて、出生から五才

までの成長発達の大偉大な資料を得

た。今又この乳幼

児と現代の文化に

よつて成長するこ

どもと文化のそれ

それに年令におけ

る姿の一般を充分

に理解することが出来る。

この状態にある幼児たちの指導はいかにあるべきかは次の問題である。

その「保育上の技術」の面で物的環

A・ゲゼル著 依田新・岡宏子訳

乳幼児と現代の文化

—その発達と指導—

書



評

お茶の水女子大学附属幼稚園長

及川ふみ

健全な愛情は豊かな科学的な基礎の上にたつてい
る。
保育の実際にあ
たるものは絶えな
い知識の修得こそ
のぞましいことだ

境、適応、移行、先生、言葉、ユーモア、グループ活動など保育者としての細かいところがまえ、とそれの場その場においての先生のあり方についても教えられる点が多い。

ある。

×

×

×

×